

小野市から大切なお知らせ

ごみ出しマナーに 本当に困っています

ごみ出しのルールが守られておらず、収集できないごみが増えています。市民ひとりあたりのごみの量も他市に比べ多く、深刻な状況です。皆さんのごみ出しのマナー、ルールの遵守のご協力を心からお願い申し上げます。

ごみ収集ができない事例

透明や半透明の袋以外で出されている



危険物混入の恐れがあるため、コメ袋や肥料袋、黒色などの濃い色の袋、段ボールなどに入れられたごみは収集できません。コメ袋を透明の袋で覆っている場合も、収集できません。

古紙類以外の日に新聞紙や段ボール等が出されている



可燃ごみの日に段ボールなどは収集できません。ひもで縛り月1回の古紙類の日に出してください。可燃ごみとして出す場合は30cm以下に切断し、透明または半透明の袋に入れて、出してください。

このごみは収集できません！
取り残しますので、持ち帰ってください。

確認日	1. 粗大ごみの日に捨てる場合
	2. 古紙類の日に出してください。
	3. 透明・半透明の袋に入れて出してください。
	4. 市では収集できないごみです。 (輸入品、又は専門業者等に引き取ってもらってください)
	5. 分別をして出してください。
	6. その他

小野市市民安全部生活環境グループ ☎63-1686

収集できないごみ

収集できないごみには、左記のシールを貼ってごみステーション内に残します。次のごみ収集日まで保管し、正しい分別方法でごみ出しをお願いいたします。

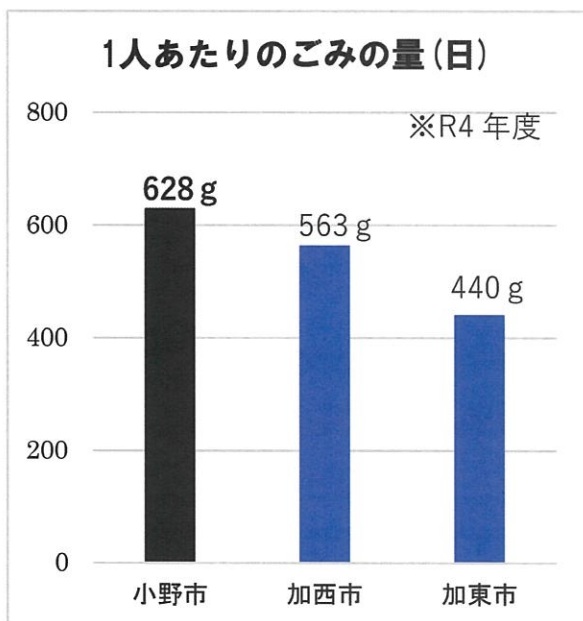
ペットボトル、缶、びんの出し方にもご注意ください！

ペットボトル、缶、びんは収集後、リサイクル業者に引き渡しています。
正しい出し方をされていない場合、引き取りができなくなることもあります。



- ⚠ 中を水洗いしてください。
- ⚠ 袋から出して捨ててください。
- ⚠ アルミ缶は「アルミ缶」の日
に、スチール缶は「小物金属」
の日に出してください。
- ⚠ びんやペットボトルのキャップ
は外してください。

みんなで減らそう！小野市のごみ！



小野クリーンセンターを利用する3市の中で、ごみの量が最も多いのは小野市です。小野市と加東市の市民1人あたりの1日のごみの量の差は約200gで、1年間では1人あたり約70kgの差になります。

ひとりひとりが少しの意識を変えるだけで、ごみの量は減らせます。
ごみの減量のためにも、正しく分別をしましょう。

PTA 等の資源ごみ集団回収もご利用ください

下記の品目は PTA 資源ごみ集団回収でも集めています。

回収により得られる収益は、こども達の学校生活でも役立っています。

- 飲料用紙パック（牛乳、酒、ジュース）
- 段ボール
- 新聞
- 雑誌
- 布類
- アルミ缶
- スチール缶
- バッテリー
- 鉄類

※日程は各学校によって異なります。各学校の HP などでご確認ください。